

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		児童発達支援・放課後等デイサービス lumière				公表日	2026 年 1月 20日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点			
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%		・広々している ・法令に遵守している			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	100%		・常に密に関わっている ・法令に遵守している			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	100%		・入ってはいけない所が明確化されている ・マットで構造化されている			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%		・午前と午後どちらも掃除している ・清掃と消毒を行っている			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%		・和室がある ・カムダウンルームがある			
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	100%		・常に台帳に記載してミーティングしている ・日々ミーティングしている			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%		・スタッフ間でのミーティングしている ・スタッフで共有し、ミーティングを実施している			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%		・何の意見でも言い合い、改善努力をしている ・風通しの良い職場なので、意見等を言い合う機会が沢山ある			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	100%		・環境環境アドバイザーを交えて業務改善に繋げている			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%		・社内研修が実施される時がある ・日々の業務の中で所内研修を行っている			
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%		・一人一人に合うプログラムだと思う ・ホームページで公表している			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100%		・保護者様からいつも丁寧な計画と言ってもらえている ・半年に一度アセスメントを実施し、スタッフで分析して計画を作成している			
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%		・スタッフ間で話し合いながら行っている ・全スタッフの意見を聞き取りながら作成している			
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%		・全員が周知出来ている ・日々確認出来るように、各児童のファイルに貼り付け支援を行っている			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100%		・今日はどうだったか、明日はどうなると思うか等と常に分析している ・日々児童の状態を観察している			
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%		・具体的であると思う ・それぞれの項目に対して適切に立てられている			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%		・関わるスタッフ全員で行っている ・各児童の課題や計画を考慮しながら立てている			

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%		<ul style="list-style-type: none"> ・運動は運動でも偏らないように気を付けている ・固定化しないよう各児童に見合ったアプローチをしている 	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	100%		<ul style="list-style-type: none"> ・必ず一日の間で集団活動が入っている ・個別と集団の活動を計画に組み込まれ、アプローチしている 	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%		<ul style="list-style-type: none"> ・一人一人について話をしている ・毎朝ミーティングをし、担当を決めている 	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%		<ul style="list-style-type: none"> ・小さなことでも共有している ・日々ミーティングしている 	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%		<ul style="list-style-type: none"> ・台帳に記録している ・台帳に記録し、ミーティングしている 	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%		<ul style="list-style-type: none"> ・半年に一度している ・達成していたら、見直しをしている 	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	75%	25%	<ul style="list-style-type: none"> ・全員よく理解している ・理解しているスタッフが参画している 	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	75%	25%	<ul style="list-style-type: none"> ・必要であれば連携している 	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%		<ul style="list-style-type: none"> ・園の人と常に情報共有を図っている ・情報共有している 	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%		<ul style="list-style-type: none"> ・必要であれば情報共有している 	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外務研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	100%			
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	100%		<ul style="list-style-type: none"> ・きららホールを利用している ・公園や近所の人と交流している ・公園やきららホールで地域交流を図っている 	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%		<ul style="list-style-type: none"> ・毎日伝えている ・送迎時や電話、LINEで伝えている 	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	100%		<ul style="list-style-type: none"> ・送迎時に必ず情報提供している ・LINEで情報提供している 		
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%		<ul style="list-style-type: none"> ・一つ一つ細かく説明している ・契約時に必ず書面と口頭で説明している 	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%		<ul style="list-style-type: none"> ・毎回聞いている ・保護者と児童の意向をそれぞれ聞いている 	

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100%		<ul style="list-style-type: none"> ・具体的な説明を必ず行い、同意をもらってから計画を開始している ・計画書を用い、口頭でも説明している 	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%		<ul style="list-style-type: none"> ・悩みがあれば応じている 	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	100%		<ul style="list-style-type: none"> ・クリスマス会や保護者参加参加などを行っている ・父母の会を開催している 	
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%		<ul style="list-style-type: none"> ・苦情が分からないが、早急に対応している ・苦情があった場合は上司にすぐ報告し、対応している 	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	100%		<ul style="list-style-type: none"> ・Instagramに載せている ・SNSやlumière新聞に載せている 	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%		<ul style="list-style-type: none"> ・SNSに掲載する写真や実績記録などは特に気を付けている ・鍵付きの書庫で保管している 	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%		<ul style="list-style-type: none"> ・LINEや送迎時に聞いている ・LINE、電話、面談など様々な対応をしている 	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	75%	25%	<ul style="list-style-type: none"> ・招待はしているが、高齢化住宅の為、中々来ない ・高齢化が進んでいる為来ない 	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定するとともに、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%		<ul style="list-style-type: none"> ・周知してから行っている ・契約時にマニュアルを用い、説明している。訓練も毎年実施している 	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%		<ul style="list-style-type: none"> ・行っている ・策定し、毎年実施している 	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	100%		<ul style="list-style-type: none"> ・保護者様から情報を得ている 	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%		<ul style="list-style-type: none"> ・冷蔵庫に貼っている。そもそも出さない（他のお子様も同様）にしている ・保護者様から聞き取っている 	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%		<ul style="list-style-type: none"> ・安全計画を作成している 	
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100%		<ul style="list-style-type: none"> ・書面や口頭で伝えている ・周知し、研修も実施している 	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%		<ul style="list-style-type: none"> ・ヒヤリハットが出る度に話し合っている ・ファイルをいつでも見れるようになっている 	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%		<ul style="list-style-type: none"> ・常に出来ている ・研修を実施している 	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	100%		<ul style="list-style-type: none"> ・身体拘束が必要な児童が現在はいない 		